

(様式第7号)

令和6年度 年度評価表

1 指定管理施設の概要

施設名	舞鶴市商工観光センター		
指定管理者	舞鶴商工会議所		
設置目的	活力あるまちづくりを推進するため、商工業、観光等地域産業の振興を図り、地域の活性化に寄与する。		
選定方法	公募	指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日
所管課	産業振興部	産業活力課	

2 利用状況等の推移

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
利用者数(人)	22,981				
利用料金(円)	5,810,473				
指定管理料(円)	66,780,000				

3 成果(数値)目標の達成状況

成果(数値)目標の種類	市設定目標	年間目標(A)	実績(B)	達成率(B/A)
貸館件数	1,600件	1,320件	1,116件	85%
利用人数	38,000人	24,350人	22,981人	94%
交流事業参加人数	5,000人	5,000人	—	—
PC講座等受講者延べ人数	110人	100人	457人	457%

4 収支状況

(円)

収入		支出	
利用料金	5,810,473	人件費	12,688,212
指定管理料	66,780,000	維持管理費	56,631,184
事業収入	628,310	事業費	1,465,459
その他	8,035,298	その他	6,779,852
合計	81,254,081	合計	77,564,707
差額			3,689,374

5 所管課による評価

項目	評価	コメント
(1) 事業計画の達成度		
成果(数値)目標を達成しているか	△	コロナ感染拡大時期と比べると回復基調ではあるが、貸館件数、利用人数ともに目標値を下回った。
施設の将来的な構想(ビジョン)に沿った運営を行ったか	○	商工業、観光等の産業振興につなげる取り組みとして、パソコン教室や海自・海保カレー事業の取り組みに参画し、積極的に自主事業を展開した。
施設の果たすべき使命(ミッション)を果たしたか	○	市の商工業・観光の発展を目的に、市主催事業と連携し企業紹介の機会を設けるなど、可能な範囲で自主事業を展開した。
市指定事業、自主事業は計画どおり行われたか	○	自主事業のパソコン教室やものづくり教室の開催とHPの改修による情報発信の充実が図れた。
利用者数の増加、利用率の上昇などが図られたか	○	HPの改修・情報発信の充実や問い合わせ・下見の段階から丁寧な対応を行い、利用者の利便性を向上させる取り組みを行っていた。
(2) 利用者の満足度		
利用者の満足が得られたか	◎	満足度アンケートによると、回答者の95%が「良い」「やや良い」と評価しており、職員の対応や施設管理も同様の評価で概ね高い評価を得ている。
利用者の意見・要望の把握は適切に行われたか	◎	施設の満足度アンケートでは全体的に高い評価をいただいており、具体的な改善要望については、可能なものは対応した。
利用者の要望・苦情への対応は十分に行われたか	◎	駐車場台数の不足による多少の苦情はあったが、丁寧に説明し、大きなトラブルには至っていない。設備の老朽化に起因する故障で利用者にご迷惑をおかけした場面でも、丁寧な対応により苦情の発生を防いでいた。
(3) 管理運営の効率性		

経費の節減が図られたか	◎	物品購入、業務委託における見積合わせに加え、節水・節電をテナントも含めて推進し、経費の節減に取り組んだ。
委託費、物品の購入費等の経費が最小となるような取組が行われたか	◎	見積合わせや、費用対効果を検討して、必要最小限の購入となるように取り組んだ。
収入増加のための取組が行われたか	◎	アクセスしやすく、見やすいようHPの改修を行い情報発信の充実に努め、会議所の会報を使った利用拡大の取り組みも強化した。
(4) 適正な管理運営		
適切な人員配置が行われたか	○	職員の離職で、一時的に人員不足を生じたが、早期の求人により、適正な人員配置を確保できた。
職員の能力向上のための取組が行われたか	○	職員会議を定例化し、能力向上の対策を講じられていた。
施設の平等な利用が行われたか	○	平等な利用が行われている。
個人情報の管理が適切に行われたか	○	適切に管理されている。
情報の公開が適切に行われたか	○	適切に行われている。
収支状況や会計処理が適切か	○	適切に処理されている。
施設・設備の法定点検及び保守が適切に行われたか	○	法令及びセンター管理業務仕様書に従って適切に管理されている。
備品等の管理が適切に行われたか	○	適切に管理されている。
危機管理、安全対策などは十分か	○	避難訓練を実施されるとともに、館内での犯罪や事故発生時に迅速かつ的確に対応できるよう、「危機管理マニュアル」を作成されている。
法令等を遵守し、適正な管理が行われたか	○	法令遵守し適正に管理されている。
(5) その他コメント		
サービス向上	施設利用者が安心して利用ができるよう、問い合わせの段階から丁寧に対応されており、利用者アンケートにおいても、概ね良い評価をいただいている。自主事業についても、PC講座において、就労準備のための方や就労中の方のための講座など幅広い対象者に教室を開催している。今後とも、より多くの利用者を確保し、市民から親しまれる利用しやすい施設となるよう工夫を図りたい。	
経費削減	物価高騰により施設の維持管理にかかる経費が増える中、可能な限りの経費削減が図られている。	
施設の維持・管理	法定点検による消防設備及び建築設備の指摘事項には迅速に対応し修理等の改善が図られている。建物及び設備の経年劣化が進んでいるが、応急対応と市への報告により、適切な施設管理が維持されているので、引き続き努力されたい。	

※ (1)から(4)までにおける評価区分

- ◎(優)： 協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準より優れた内容である。
- (良)： 協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準に沿った内容である。
- △(可)： 協定書、仕様書等の基準を概ね遵守しているが、内容の一部に課題がある。
- ×(不可)： 協定書、仕様書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な内容である。

6 選定委員会による評価

評価点	3.2点	※左記の点数は、各委員が次の5段階評価を行い、その点数を平均したものです。 5：良い、4：やや良い、3：普通、2：やや悪い、1：悪い
総評	・ 良い施設だけに利用者が少ないのは課題である。観光客を呼び込むなど利用促進を図りたい。 ・ 利用者の満足度が高い。 ・ 様々な取り組みを行っており評価できる。 ・ 利用者数が増加するよう努力されたい。収支の黒字は評価できる。	

《参考》 過年度の評価点

年度	年度	年度	年度	平均